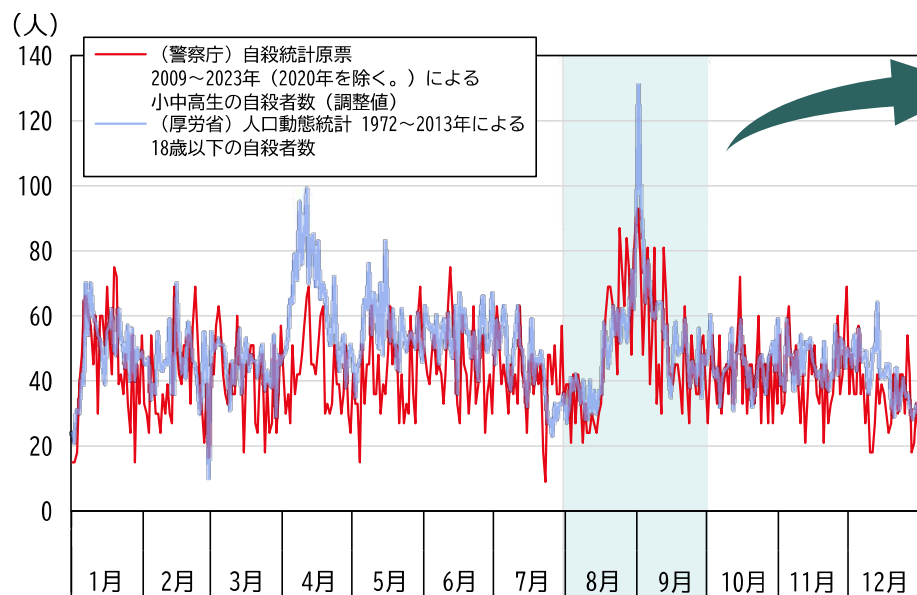


第2章 こどもの自殺の状況と対策⑥ 長期休暇明けの小中高生の自殺

令和6年版自殺対策白書

- 2009年以降の小中高生の自殺者数を日別で見ると、**8月後半から増加し、特に夏休み明けの9月1日に多くなっている**。過去の分析と比べ、夏休み明けの9月1日の自殺者数は減少し、春休み明け（4月上旬）の自殺者数の増加は緩やかになっている。
- 地域別にみると、「**北海道・東北**」の自殺者数が特に増加する時期は、「**その他地域**」よりも**2週間ほど早い**。北海道・東北地方については、夏休み明けが1～2週間早い傾向にあることと関連があると考えられる。

こどもの日別の自殺者の状況

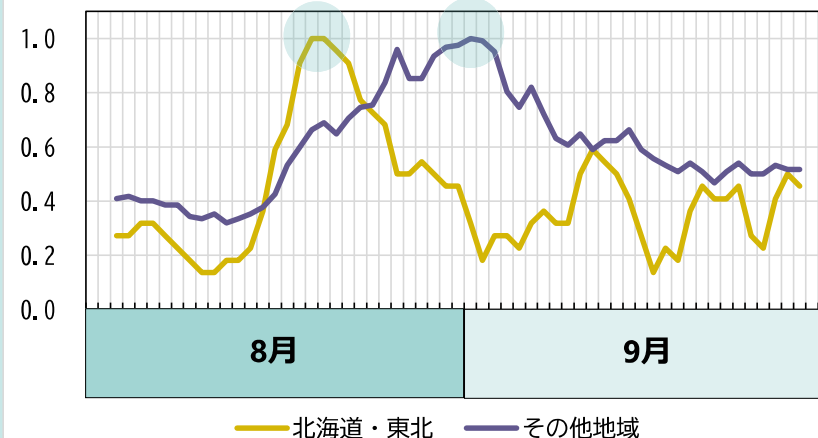


※自殺統計原票は小中高生の自殺者を発見された日に、人口動態統計では18歳以下の自殺者を自殺した日に基づいて集計している。

※自殺統計原票によるデータは14年間、人口動態統計によるデータは42年間の値であるため、自殺統計原票の原数値を42/14倍等する調整を行っている。

小中高生の8月から9月にかけての自殺者の状況

8月・9月のみ、地域別 自殺統計原票 2009～2023年（2020年を除く。）による



日別の自殺者数を5日中心移動平均によって平滑化したもの。比較のしやすさのため最大値を1としている。

資料：警察庁自殺統計原票データ、内閣府「平成27年版自殺対策白書」より厚生労働省作成